

宮津市橋梁長寿命化修繕計画



令和5年3月改定版

(平成25年3月策定)

宮津市建設部土木管理課

目 次

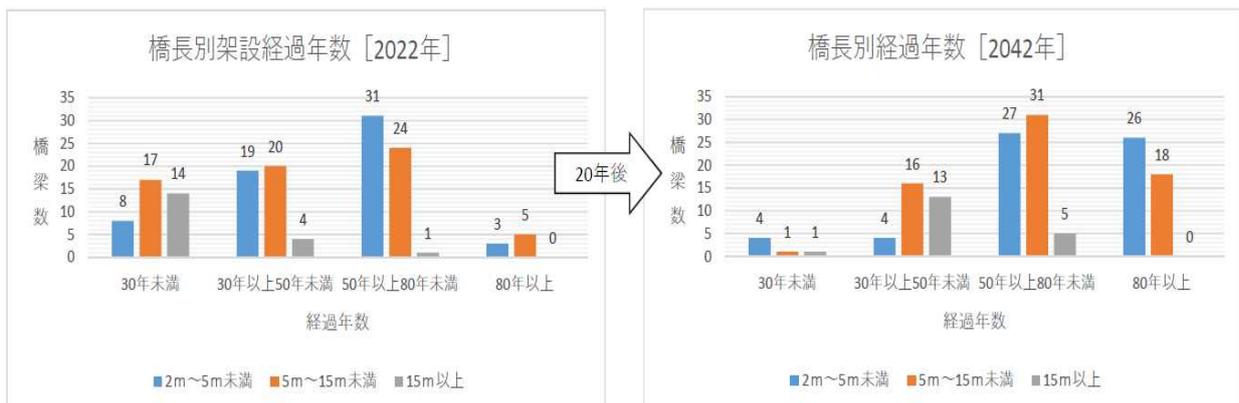
1. 計画策定背景と目的	1
2. 橋梁維持管理の基本方針	2
3. 橋梁修繕の基本方針	3

1 計画策定の背景・目的

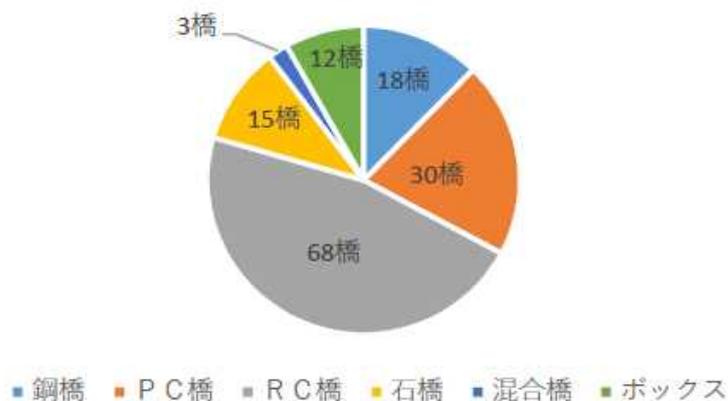
宮津市は令和4年4月1日現在 146 橋の橋梁を管理している。そのうち、建設年度から 50 年以上経過している橋梁は、全体の約 44%（64 橋）を占めており、20 年後の令和 24 年度には約 73%（107 橋）に増加し、橋梁の高齢化が急速に進行する。

老朽化に伴う維持管理費の増加が想定されることから、平成 24 年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、増大する修繕費や架け替えコスト等の維持管理コストを縮減するため、**損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う、「予防保全型」の維持管理**へと転換し、橋梁の維持管理を継続的に行っているところです。

本計画は宮津市が管理する 146 橋を対象橋梁とし、橋梁の損傷状況や路線の重要度を基に、修繕優先度や必要経費等を計画的に把握することで、通行者に被害を及ぼすことなく、快適な利用が継続できるよう、適切に維持管理することを目的としている。



構造形式別橋梁数



2 橋梁維持管理の基本方針

橋梁の維持管理は、道路法上の道路に架かる橋長 2m以上の道路橋について、5年に1度の近接目視の点検が義務付けられており、本市においても定期点検における橋梁の健全度判定（Ⅰ：健全、Ⅱ：予防措置段階、Ⅲ：早期措置段階、Ⅳ：緊急措置段階）を行い修繕計画の目安としている。

1) 健全度の把握について

橋梁の定期点検を継続的に実施する事で、損傷を早期発見するとともに、点検データを蓄積することで計画の更なる精度向上を目指します。

2) 日常的な維持管理について

定期点検だけでなく、日常的にパトロール車による走行面の変状についての点検を行います。



■橋梁点検状況写真



■コンクリート橋の損傷



■鋼橋の損傷



■コンクリート



改修前



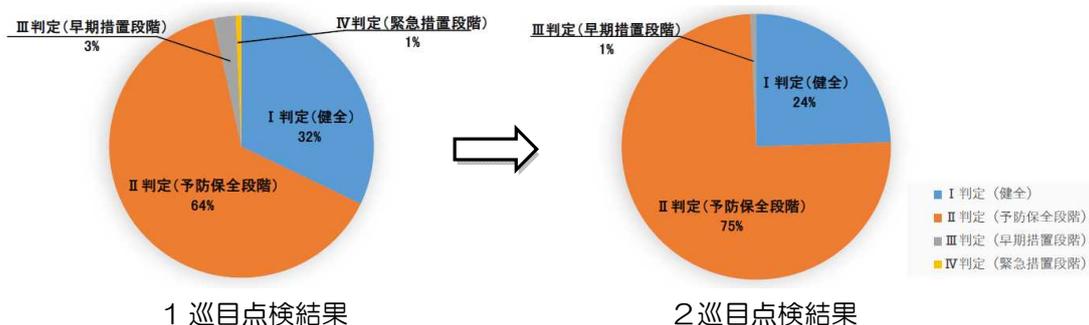
改修後

3) 管理施設の老朽化の状況

点検結果により診断した対象橋梁の健全度を以下に示す。

対象施設の老朽化の状況	1巡目点検結果	2巡目点検結果
	H26～H30	R1～R5
点検施設数	146	139
I 判定 (健全)	47	34
II 判定 (予防保全段階)	94	104
III 判定 (早期措置段階)	4	1
IV 判定 (緊急措置段階)	1	0

※1巡目点検結果においてⅢ、Ⅳ判定となった施設は、令和4年度末で全て措置済み
 ※2巡目点検の内、撤去及び更新予定の橋梁は点検を実施していません(7橋)



3 橋梁修繕の基本方針

1) 目標と計画について

橋梁の長寿命化計画では長期的な視点（2013年～2092年）から、計画的かつ効率的な修繕や更新を行うことで、橋梁の寿命を100年とすることを目標に公共施設の維持管理にかかる予算の平準化・長期的な維持管理にかかるコスト削減に努めながら、道路交通の安全性の確保を図ることとしています。

また、宮津市橋梁長寿命化計画は5か年計画とし、定期点検の結果を踏まえ、適宜、計画を見直すこととしています。

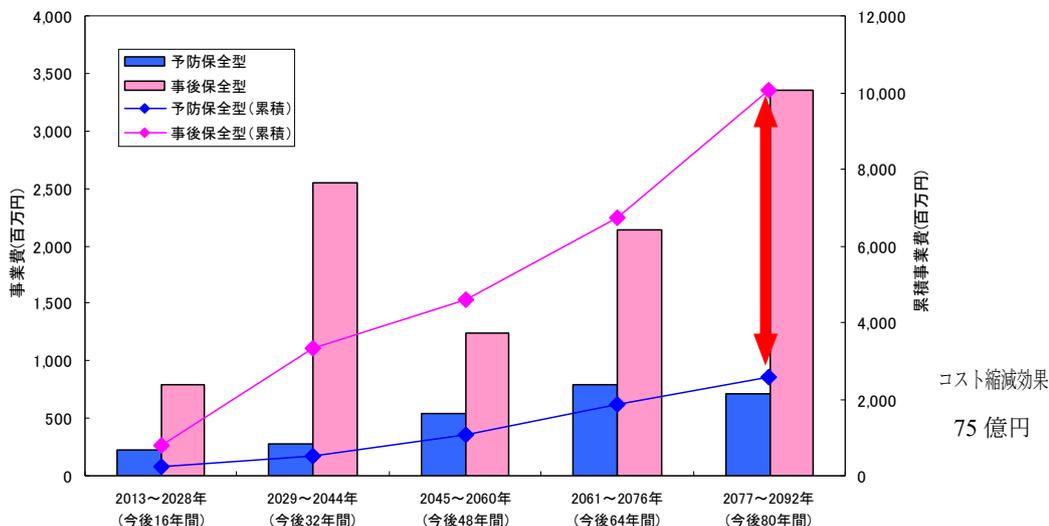


図 長寿命化修繕計画による効果

2) 新技術等の活用に関する基本方針

宮津市では、点検支援技術性能カタログや NETIS（新技術情報提供システム）に記載される新技術等の活用を積極的に検討することで、点検の効率化や精度向上、また、修繕においては設計段階から新技術・新素材の活用について検討しコスト縮減を図る。

3) 橋梁の集約化・撤去等に関する基本方針

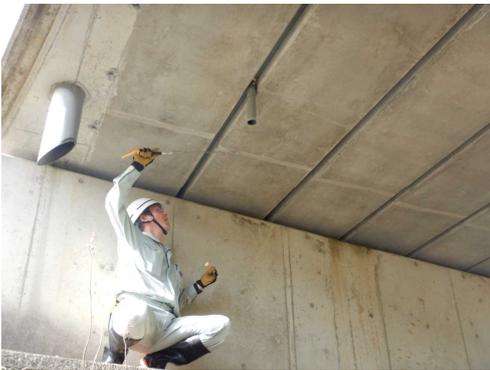
宮津市では人口減少や土地利用の変化など、社会構造の変化に伴う橋梁等の利用状況を踏まえ、効率的に修繕・更新を実行するため、橋梁の集約化や撤去について検討し、管理橋梁数の削減を図り、また、既に劣化損傷が進行し早急な措置が迫られる橋梁については、予算的・技術的制約から必要な処置が実施できない場合には、通行規制・通行止めについても検討を進める。

4) コスト縮減に関する具体的方針

管理橋梁における具体的なコスト縮減については以下の項目とする。

○新技術活用や小規模・単純な橋梁形式の職員点検によるコスト縮減

3巡目点検（2024年度～2028年度） 【約600万円の縮減】



職員点検状況 < 2巡目点検 28橋実施 >

○利用状況の著しく低い橋梁の集約化・撤去等の検討

令和9年度までに3橋を目標数値として集約化や単純撤去にむけ行動する。

【約100万円の縮減】

○事業内容

・架設後80年以上が経過し老朽化が著しい中田橋、今宮橋を撤去し、新中田橋を新設し1橋に集約。

・現状スクールバスや緊急車両が集落に入れないため、中田橋の架け替えに併せて拡幅が必要であったが、現道での拡幅が困難であったことから、迂回路を整備し、上流側に新設。

○位置図

○撤去橋梁(中田橋)

項目	内容
橋梁形式	PC橋
橋長	12.9m
橋幅員	3.2m
供用年	1933(S8)年
点検頻度	Ⅲ相当(H23)

○撤去橋梁(今宮橋)

項目	内容
橋梁形式	RC橋
橋長	12.3m
橋幅員	2.2m
供用年	1935(S10)年
点検頻度	Ⅳ相当(H23)

○集約化・撤去(複数橋梁の集約化)

【撤去】今宮橋

【新設】(仮称)中田橋

【撤去】中田橋

迂回路整備

30m

事業着手: 2015(H27)年度
新中田橋: 2021(R3.3)完成

【今宮橋の撤去】

【中田橋の撤去】

【新中田橋】